

保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 3年 2月 18日

事業所名 あおい学園 保護者等数(児童数) 33 回収数 33 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	3		2	・屋外スペースが少し手狭に感じる・公園などに行けたらいいなと思います(コロナで難しいですが) ・外遊び、プレイルーム、給食等グループに分けて下さるのでとても安心です	限られたスペースですが、支援に有益なものを設置しています。園外活動も状況に応じ、コロナ感染対策を行いながらとり入れています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	32			1	・コロナで参観がなく、園の様子を見る機会がない為わかりませんが、支援内容は満足しています	コロナ感染対策のため、園全体での参観は行っていませんが、個別での参観は随時で行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(※1)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	2				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	30	2		1		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(※2)が作成されているか	30	3				
	⑥	児童発達支援計画には子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	1		1		
	⑧	活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか	27	3	1	2	・もし可能であれば園外へのお散歩等の機会が増えるのととてもありがたいです	園外活動は今後も状況に応じとり入れていきます
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	13	17	・将来的な事を考えたら、障害がある、ないかわからず共に生きるという意味では小さい頃から関わら合う機会は大事に思う!	変化に弱い児が多く、他園との交流は困難と考えています
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	2	1			利用者の負担を伴う事はその都度園より発信します。諸規定、各マニュアルは園玄関に備えています。ご一読下さい。
	⑪	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	32	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※4)等)が行われているか	16	5	3	9	・ペアレント・トレーニングはすごく大事な事だと思う。日々のノートを活用すれば更によくなると思う。	母親教室での小児科医を招いてのお話は大変有益と考えます。保護者の方と園との個々の相談を今後も努めていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	32		1		・いつも丁寧にノートを書いて下さっているので読むのが楽しみです。	今後も保護者の方との意思疎通に努めていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	2		1		定期また随時の対面また連絡帳により共有していきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23		7	3	・コロナがあるので仕方がない・今年度はできていないのはしかたのない事だと思います。	コロナ感染対策のため、保護者会開催が少なくなりました。今後もお知らせ等を活用して補っていきたいと考えます。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	2	4		保護者の方よりの申し入れの際には、主に朝夕の会議で園全体で周知・協議し、すみやかに対応することとしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	2	2	11	支援の評価は毎年実施し、結果は保護者の方にお伝えし、ホームページにも掲載します。その他の情報は定時また随時園より発信します。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28	1	4		個人情報の保護には細心の注意を図っています。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	24	2	7		今後も防犯・防火また災害時の訓練等できるだけ行っていきます。各種マニュアルは常時園玄関に掲示しています。ご一読下さい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	1	4		避難訓練は毎月定期的に行うようにしています。園の地域は津波浸水想定区域外ですが、園より避難する際は、きのくに志学館(図書館)が避難場所になります。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	31			2	・毎日楽しく通ってます！！ ・おうちが大好きなので
	㉓	事業所の支援に満足しているか	32	1			・満足していますが、できれば今後手話やマカトンなど、言葉の話せない子どもたちや、話せる子どもたちにも子ども同士の話すサインの一つとして支援のなかにとり入れていってくれればなどと思います。 ・先生方も明るくアットホームで、コロナ渦の中でも出来る限りの事を一生懸命してくださり、本当に感謝です！

(注釈)

- ※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ※2 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画は、児童発達支援・放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- ※3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- ※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。